

モザイコ 施工説明書



このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
施工前に、この施工説明書をよくお読みのうえ、正しく取り扱ってください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

ご使用になる前に 安全上のご注意 ～必ずお守りください～



警告

取り扱いを誤った場合、怪我を負うことが想定される内容を表します。



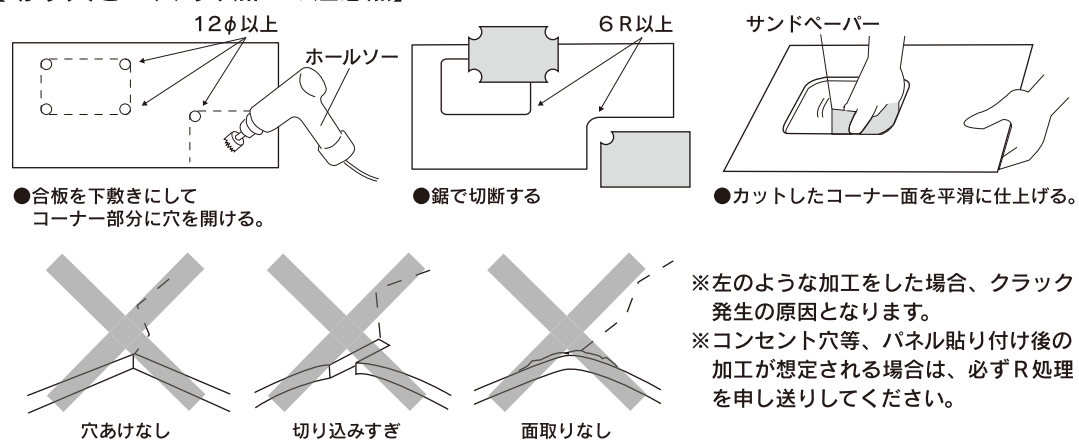
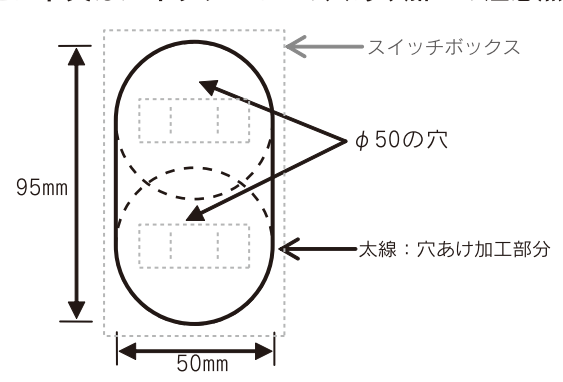
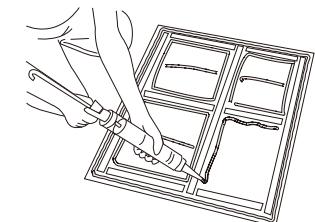
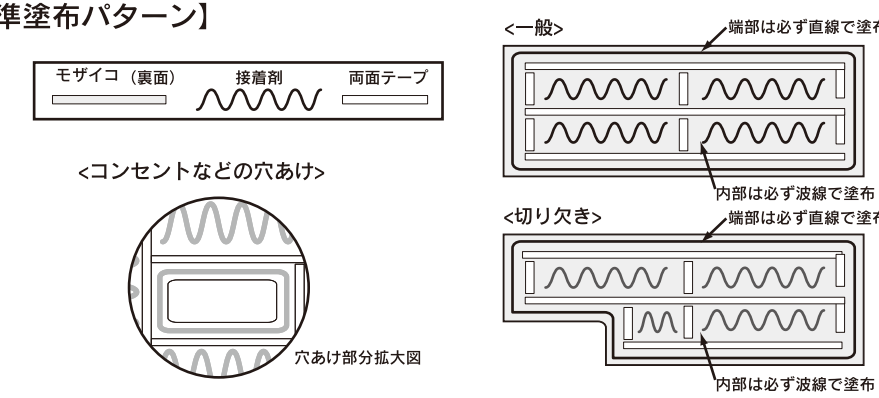
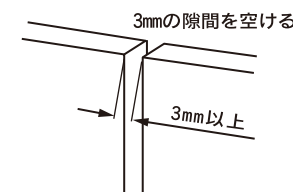
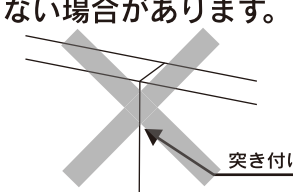
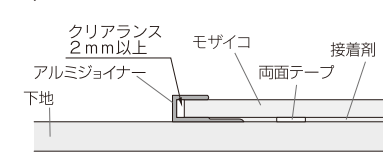
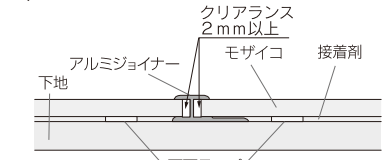
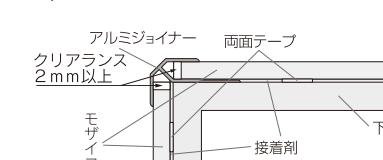
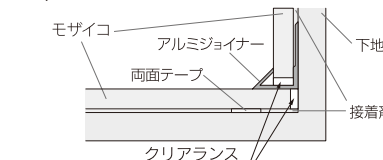
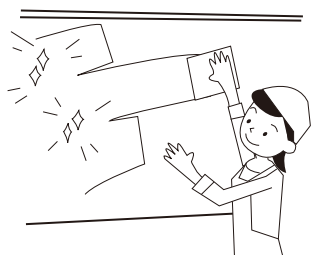
注意

取り扱いを誤った場合、物的損害の発生が想定される内容を表します。

⚠ 警 告	
●2人以上で運搬してください。	⇒重量物です。身体を痛める恐れがあります。 (3×8尺板1枚当り約11.7kg)
●モザイコ取り扱い時には滑り止め付き 保護手袋 を着用してください。	⇒モザイコの落下による破損や端部に接触した際、怪我をする恐れがあります。
●モザイコの加工 端部は面取り を行なってください。	
●加工時には粉塵用 保護マスク 、 保護メガネ を着用し十分な 換気 をしてください。	⇒粉塵、破片又は有機溶剤を吸い込み、健康を害する恐れがあります。
●室内等の換気の悪い場所では、 集塵機能のついた切断機 を使用するか、換気を良くして作業してください。	また、異常を感じたら直ちに医師の手当てを受けてください。
●接着剤、両面テープを使用する際は 換気 してください。	
● 禁止された下地 には施工しないでください。	⇒剥がれによる落下の恐れがあります。
●弊社指定の 接着剤 、 両面テープ 以外は使用しないでください。	
● 両面テープのみ で貼り付けはしないでください。	
●壁面施工用です。 天井や床面へ は使用しないでください。	⇒天井で使用した場合、落下の恐れがあります。 ⇒床面で使用した場合、表面はすべりやすく、転倒する恐れがあります。
● 建築基準法 、 火災予防条例 に従って施工してください。	⇒火災の原因となります。また、モザイコの表面が焦げたり破損する恐れがあります。
●コンロ廻りでは家庭用調理器具(4,600kcal以下)を使用してください。	
● 業務用調理器具の壁面 には使用しないでください。	
⚠ 注 意	
●運搬中、折り曲げるような 応力をかけない でください。	⇒モザイコが劣化、破損する恐れがあります。
● 内装壁面用途以外 には使用しないでください。	
●サウナなどの乾燥室内や、温泉内壁など常に湿潤状態が継続し、 酸やアルカリ成分を含むような厳しい条件が伴う場所 には施工しないでください。	
●モザイコに ビス打ち しないでください。	
●加工コーナー部分には R処理 を施してください。	
●地面やコンクリート面には 直接置かず 、厚板やパレットの上に 平積保管 してください。	⇒モザイコが反り、施工できなくなる恐れがあります。
●製品の上を歩いたり腰掛けたり物を置かないように注意してください。	
●保管時、 直射日光 または 水濡れ するような場所は避けて、屋内の風通しの良い所に保管してください。	
● 立て掛け置き はしないでください。	
●水平面に置いて反りが10mmを超える製品は施工しないでください。	
●施工用下地は、 当社が推奨する下地 を使用してください。	⇒剥がれ、端部浮き上がりの恐れがあります。
●専用接着剤を 均一に塗布 し、 製品の外周 は必ず専用接着剤を塗布してください。	
● 突き付け施工 しないでください。	
●製品をカットする際は、長さ方向、幅方向共に タイル柄に沿ってカット してください。	⇒複数枚のパネルを連続して貼り合わせた際にタイル柄が繋がらず、意匠性が損なわれる恐れがあります。
お 願 い	
●金属タワシ、ナイロンタワシ、磨き粉など 硬いもので磨かない でください。	⇒モザイコが劣化したり、光沢が失われる恐れがあります。
●酸や、毛染めなどの 薬液がついたまま放置 しないでください。	
●施工後、 強く叩いたり、硬いものをぶつ けたりしないでください。	⇒モザイコが破損する恐れがあります。
一般的な施工の流れ	
①作業準備	②下地処理
③採寸・割付	④加 工
⑤両面テープ貼付 専用接着剤塗布	⑥製品貼付
⑦コーキング ジョイナー施工	⑧養生・仕上げ

◎本製品は事業者を対象とした業務用製品です。廃棄する場合は、産業廃棄物として適切に処理してください。
◎製法上、柄とエンボスが完全に一致しないことがあります。
◎製法上、目地柄とカットラインが平行にならないことがあります。

工 程	手 順		注 意 点		
①作業準備 破損、傷の有無を確認 平積み保管 完全防備	・ 施工前に品番、数量及び輸送上の破損、傷のないことをご確認ください。 ・ 製品の保管時は、屋内の平らな場所に厚板やパレットの上に平積みしてください。 ・ 下記工具をご用意ください。		・ その後の責任は負いかねますのでご注意ください。 ・ 直射日光や水がかからない様にしてください。		
	副 資 材	専用接着剤(キッチン用・バスルーム用)、両面テープ、コーキング剤、ジョイナー、マスキングテープ、腰壁パネル装飾部材など			
	保 護 具	保護手袋、保護メガネ、防塵マスク			
	裁寸・割付	木槌、振り下げ、水準器、差し金、墨つぼ、スケール、メモ用紙、筆記具			
	加 工	電動鋸、ドリル、合板(下敷き用)、ダイヤモンドソーまたは目の細かいチップソー、ホールソー、グラインダー、サンドペーパー、ケガキカッター、ハンディーソー、金ヤスリ			
	仮止め貼付	ウエス、カッターナイフ、コーキングガン			
	接着剤塗布				
	製品貼付	吸盤器			
仕 上 げ	清掃用具、中性洗剤、木ヘラ				
②下地処理 タイル面 塗装面 壁紙面	・ モザイコの施工が可能か下地の確認をしてください。 ・ 不陸のないように精度良く仕上げてください。 不陸がある場合は調整ください。 (3mmまで⇒両面テープを重ね貼りする。 3mm以上⇒ボードの捨て貼りで下地を作成する。 ・ 下地施工、プライマー塗布は材料メーカーが指定(推奨)する施工方法を厳守してください。 ・ タイル下地の場合は油汚れ、水垢、皮脂汚れ、石鹼カスなどがないように清掃すること。洗浄後は充分乾燥させる。		・ 下地材の選定と構造の作成は、建築基準法や火災予防条例などに適合するように行なってください。 ・ 下地の浮き上がり、亀裂、破損等の不具合がないこと。 ・ プライマーをご使用の際は、十分に換気を行って下さい。 ・ コニシ株式会社「シールプライマー#7」の乾燥時間の目安は以下の通りです。 5℃…60分 23℃…30分 35℃…15分 ・ プライマーを塗布した後は、塗布面にゴミ等が付着しないようにして下さい。 ・ 「シールプライマー#7」の乾燥後、8時間以内にパニートを施工して下さい。		
	⚠ 使用禁止下地	推奨下地		下地の条件	
	塗装面 壁紙面 ALC躯体への直接貼り RC壁面への直接貼り 発泡断熱材への直接貼り ユニットバス壁面 湿気を帯びた下地 凹凸のある下地	石膏ボード(プラスターボード)		t=12.5mm以上	プライマーを全面に塗布してください。 推奨：コニシ株式会社 シールプライマー#7
		構造用合板(耐水合板)		t=9.0mm以上	
		珪酸カルシウム板		t=5.0mm以上	
		繊維強化セメント板		t=5.0mm以上	
		フレキシブルボード(※浴室施工可能下地)		t=5.0mm以上	
	浴室以外のモルタル仕上げ面 (含水率4.5%以下、接着強度1.0N/mm ² 以上、平滑な金ゴテ仕上げ、不陸2mm以下)	プライマーを全面に塗布してください。 推奨：コニシ株式会社 シールプライマー#7			
	タイル面(※浴室施工可能下地)	浮き上がりのないこと			
	※その他、上記にない下地は必ず当社までお問い合わせください。				
採寸・割付・加工について					
モザイコの施工枚数、施工場所によって、割付・加工方法が異なります。以下のA～Eのうち該当箇所に従って施工してください。					
A. モザイコを1枚貼る場合		D. 窓もしくはカウンター等の切り欠き部分に貼る場合	B～Eは別紙をご参照ください。		
B. モザイコ2枚を同じ目方向で貼る場合					
C. モザイコを3枚以上貼る場合					
A. モザイコを1枚貼る場合の採寸・割付・加工(切断)の流れ					
③採寸・割付 下地採寸 製品採寸	・ 納まりを考慮し全体の割付を行ってください。 ・ モザイコの外周に3mmのクリアランスを取ってください。 ・ 下地の目地とモザイコパネル間のクリアランスが重ならないようにしてください。 ・ 下地の目地とモザイコパネル間のクリアランスが重ならないようにしてください。		・ 出窓、もしくはカウンターなどの切り欠き部分は、製品を分割するセパレート施工を行ってください。 ・ セパレート施工の方法は、別紙をご参照ください。 ・ 突き付け施工はしないでください。		
	※切り欠き部分にクラック発生の危険あり				
④加 工 (穴あけ) 化粧面 合板	・ くり抜きがある場合は、コーナー部へ12Φ以上の穴を開けてください。 ・ 合板を下敷きにしてパネルと固定し、電動ドリル、ホールソーを使用し、化粧面側から穴を開けてください。		・ モザイコにビス打ちしないでください。		
	④加 工 (切断) a) b) c)				
・ 切断は電動鋸又はケガキカッターを使用してください。鋸刃はキッチンパネル用(不燃メラミン化粧板用)又はダイヤモンドソーを使用してください。(※木工用のチップソーを使用するとカット面にバリが出る恐れがあります) ・ 電動鋸使用時は鋸刃の回転方向が化粧面から裏面側へ抜けるように、ケガキカッター使用時は化粧面にケガキ傷をつけてカットしてください。 ・ 左図aのように、モザイコの長編両端にある2つのタイルについて、製品長辺からタイル内側の辺までの距離をそれぞれ測定してください。 ・ 左図bのように、差が1mm以上の場合、長辺の片側を、縁から1列目のタイル柄に沿って印をつけて目地カットしてください。差が0mmかつタイル柄に沿っている場合、目地カットは必要ありません。 ・ もう片側の長辺は、必要な幅寸法に印をつけてカットしてください。 ・ 左図cのように、下側の短辺は、長辺方向を基準に直角になるようにさしがね等を使用してタイル柄に沿って印をつけ、カットしてください。 ・ 上側の短辺は、必要な長さ寸法に印をつけてカットしてください。		・ 切断時に製品の浮き上がり、振動が無いように固定してください。 ・ チップソーを使用する場合は歯数の多い新品の超鋼歯を使用してください。 ・ エンボスではなくタイル柄に沿って印をつけ、目地カットしてください。 ・ 柄の関係上、直角にカットした場合1mm程度斜めになる場合があります。			
(仕上げ)		・ 加工部分は鬼目ヤスリ又はサンドペーパー(#180～320)で面取りを行ない、平滑に仕上げてください。			

工 程	手 順	注 意 点										
【切り欠き・穴あけ加工の注意点】  ●合板を下敷きにしてコーナー部分に穴を開ける。 ●鋸で切断する ●カットしたコーナー面を平滑に仕上げる。 ※左のような加工をした場合、クラック発生の原因となります。 ※コンセント穴等、パネル貼り付け後の加工が想定される場合は、必ずR処理を申し送りしてください。 穴あけなし 切り込みすぎ 面取りなし		【コンセント又はスイッチBOXの穴あけ加工の注意点】  ●φ50以上のホールソーで穴を2カ所開けてグラインダー又はジグソーで連結し切断面を平滑に仕上げる										
⑤両面テープ貼付 専用接着剤塗布 	- 必ず当社指定の専用接着剤、両面テープを使用してください。 - 製品端部から20mm～30mm以内に両面テープを貼ってください。 - 専用接着剤を外周部から10mmひかえた位置と中央部に塗布してください。 - 浴室リフォームの場合は、必ずバスルーム専用接着剤（1液型エポキシ樹脂系接着剤）をご使用ください。 （ ※浴室の施工には防水テープの使用を推奨します。 防水テープ推奨品 コニシ株式会社 VF194 ）	- 両面テープは仮止め材です。接着目的に使用しないでください。 - 専用接着剤は所定の使用量を守り、製品の外周には必ず専用接着剤がくるように塗布してください。 ●使用量目安 <table><tr><th>部材の種類</th><th>部材1単位あたりに使用できる製品(3×8尺板)枚数</th></tr><tr><td>接着剤(キッチン用)</td><td>1本あたり製品1枚</td></tr><tr><td>接着剤(バスルーム用)</td><td>1本あたり製品1枚</td></tr><tr><td>コーキング剤</td><td>約15m（3mm目地とする）</td></tr><tr><td>両面テープ</td><td>1巻あたり製品1枚</td></tr></table>	部材の種類	部材1単位あたりに使用できる製品(3×8尺板)枚数	接着剤(キッチン用)	1本あたり製品1枚	接着剤(バスルーム用)	1本あたり製品1枚	コーキング剤	約15m（3mm目地とする）	両面テープ	1巻あたり製品1枚
部材の種類	部材1単位あたりに使用できる製品(3×8尺板)枚数											
接着剤(キッチン用)	1本あたり製品1枚											
接着剤(バスルーム用)	1本あたり製品1枚											
コーキング剤	約15m（3mm目地とする）											
両面テープ	1巻あたり製品1枚											
【標準塗布パターン】  ●開口部・切り欠き部は、仮留めテープ・接着剤により補強して下さい。 （下地側に仮留めテープ貼付・接着剤塗布する場合も同様です）												
⑥製品貼付け  ※両面テープの位置を押さえる	- 専用接着剤塗布後10分以内で所定の位置に貼り合わせてください。 - モザイクの外周に3mmのクリアランスを取ってください。（モザイクの端材をスペーサーとして挟むと便利です。） - 両面テープの位置を手で押さえこむようにして、充分接着させてください。 	- 両面テープの離型紙(りけいし)の剥がし忘れにご注意ください。 - 一度貼ると剥がせません。 - 突き付け施工はしないでください。 - 全体を強く叩いたり、押さえたりすると接着剤が「泣き別れ」を起し、接着しない場合があります。  突き付け										
⑦コーキング 	- マスキングテープを貼って奥までしっかりとコーキング剤を注入してください。 - ヘラなどを用いて余分なシリコンをかきとってください。 - マスキングテープをゆっくり内側にはがしてください。	はみ出し部分はすぐにきれいな布で拭き取ってください。										
⑦ジョイナー施工	- ジョイナー内クリアランスに専用接着剤もしくはコーキング剤を注入してください。 - 浴室施工の場合は水のまわり込みがないように、必ずモザイクとジョイナーの隙間にコーキング剤を注入してください。	ジョイナー内で突き付けにならないようにしてください。										
1)仕舞用 	2)平目地用 	3)出隅用 	4)入隅用 									
⑧養生・仕上げ 	- モザイク及びその副資材に使用した専用接着剤、コーキング剤が硬化するまでは、24時間かかります。硬化するまで動かさないでください。 - 表面の汚れは、柔らかい布に水を含ませて軽く水拭きしてください。尚、水拭き後は乾拭きで水分を拭き取ってください。汚れが取れにくい場合は、アルコール、シンナーなど有機溶剤で拭き取ってください。	- モップ・ブラシ等をパネルに強く当てますと、傷やヘコミの原因となります。また金属たわし、ナイロンたわし、研磨剤入りの洗剤等を使用すると表面に傷が付きます。 - 酸性又は強アルカリ洗剤等は、モザイクの表面を変色させる恐れがありますので使用しないでください。										

モザイク3mm厚用 腰壁パネル装飾部材の施工方法

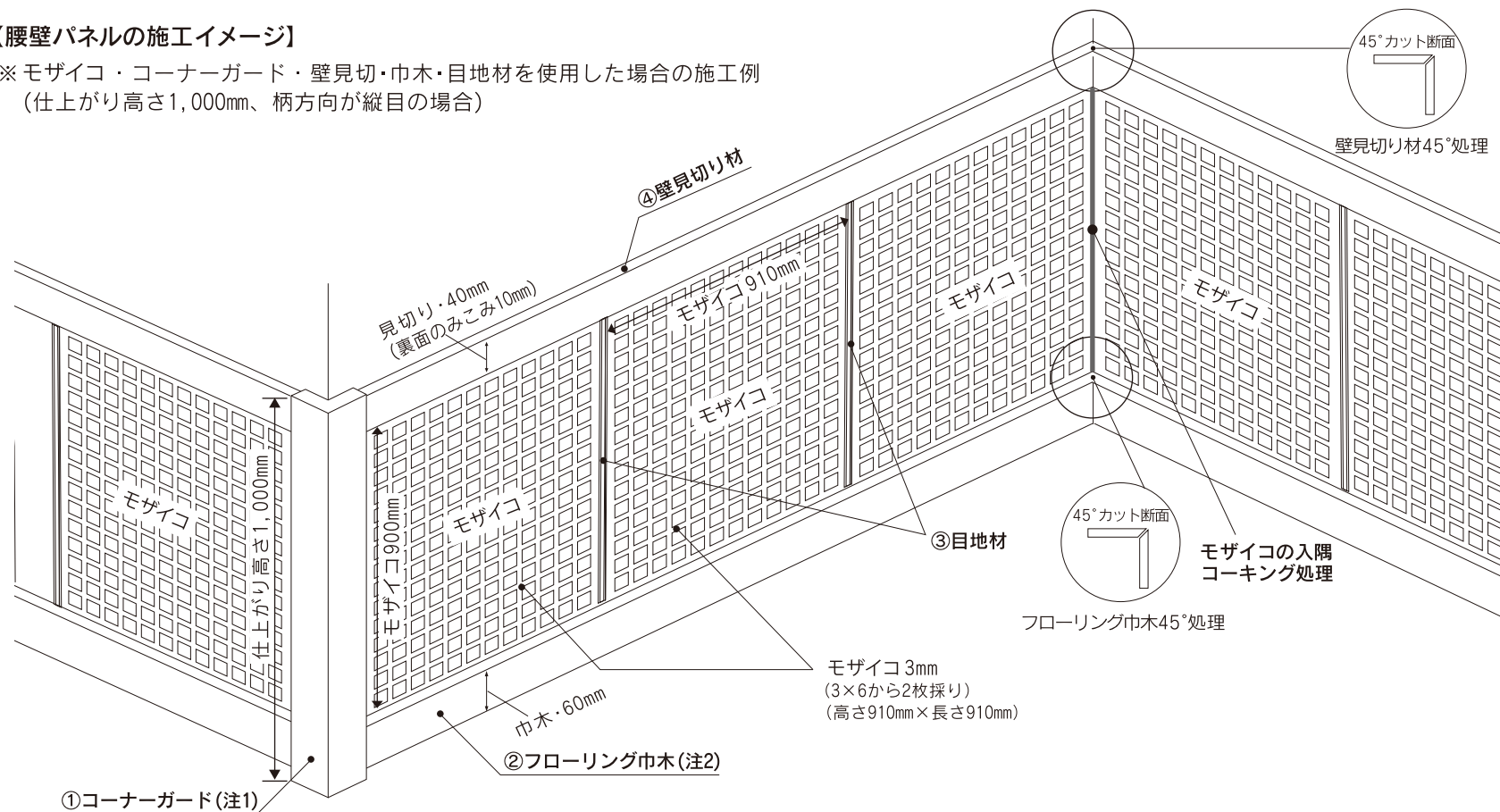
●腰壁パネル装飾部材に使用する接着剤、両面テープは「キッチン用接着剤セット」を使用してください。

●モザイクの施工前にまずはコーナーガード(注1)、フローリング巾木(注2)を直接下地の所定位置に貼り付けます。

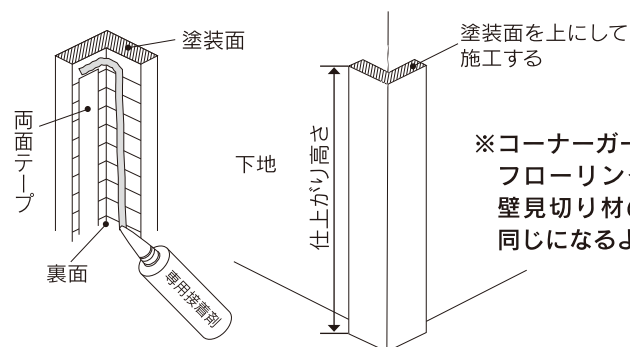
(注意) コーナーガードを必要とする壁面の場合は先にコーナーガードを下地に貼り付けてから次に巾木を貼り付けてください。組合せ不具合に注意してください。

【腰壁パネルの施工イメージ】

※モザイク・コーナーガード・壁見切り・巾木・目地材を使用した場合の施工例
(仕上がり高さ1,000mm、柄方向が縦目の場合)



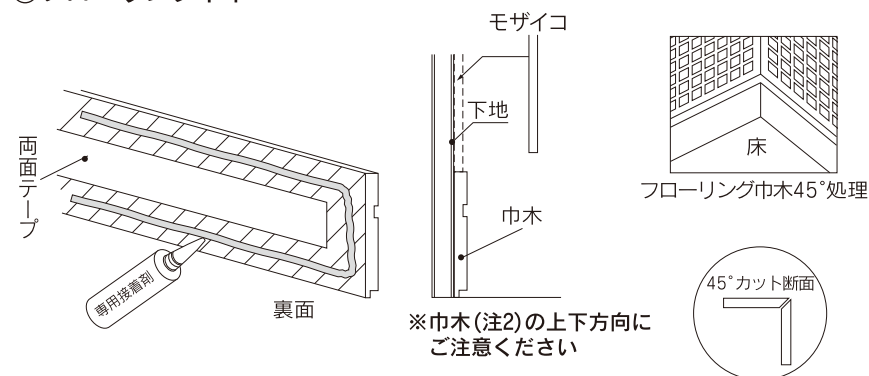
①コーナーガード



※コーナーガード(注1)の高さと
フローリング巾木、モザイク、
壁見切り材の仕上がり高さが
同じになるようにしてください。

- ・コーナーガードの上下端部は塗装がしてありますので、塗装面を上にして施工してください。
- ・コーナーガードを正寸カットしてください。
- ・両面テープをコーナーガード裏面側の片側1方向に貼り付けます。
- ・続いて他辺方向に専用接着剤を塗布してから下地に密着させてください。

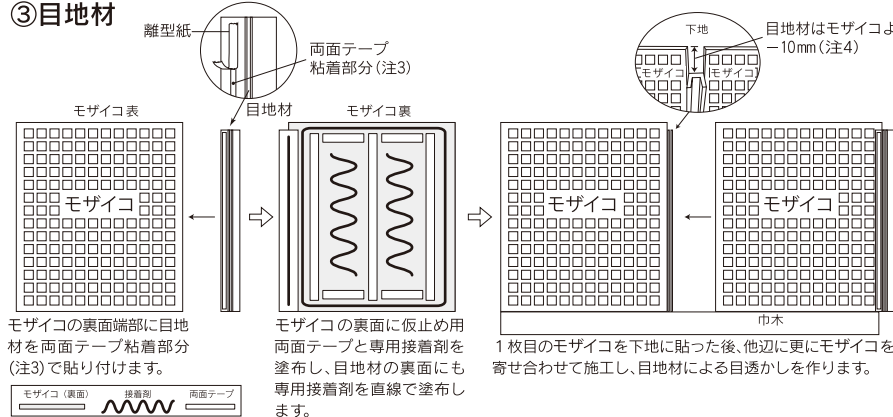
②フローリング巾木



- ・フローリング巾木を正寸カットしてください。
- ・両面テープを巾木裏面側の中央に貼り付けます。
- ・続いて端部に専用接着剤を直線に塗布してから、下地に密着させてください。

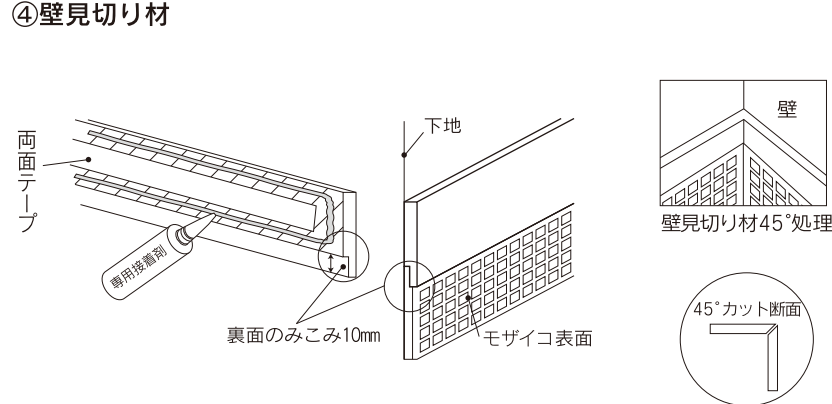
※巾木の入隅コーナー収めは、スライド丸ノコを使用して斜め45°で処理してください。

③目地材



- ・目地材の長さは、壁見切り材のみこみが10mmあるのでモザイクの高さより10mm短くして正寸カット(注4)してください。
- ・予め目地材に貼り付けてある両面テープの離型紙を剥がします。
- ・続いてモザイク裏面端部に目地材を両面テープの粘着部分(注3)で貼り付けます。
- ・次にモザイクの裏面に両面テープを貼り付け専用接着剤を塗布した後、目地材の裏面にも専用接着剤を直線で塗布し所定の位置に貼り付けてください。
- ・その目地材の他辺に更に正寸カットしたモザイクを寄せ合わせて目地材による目透かしを作ります。

④壁見切り材



- ・壁見切り材を正寸カットしてください。
- ・貼り合わせたモザイクの上面に壁見切り材を貼り付けます。
- ・両面テープを壁見切り材裏面側の中央に貼り付けます。
- ・続いて端部に専用接着剤を直線に塗布してから、下地に密着させてください。

※巾木と同様に壁見切り材の入隅のコーナー収めは、スライド丸ノコを使用して斜め45°で処理してください。

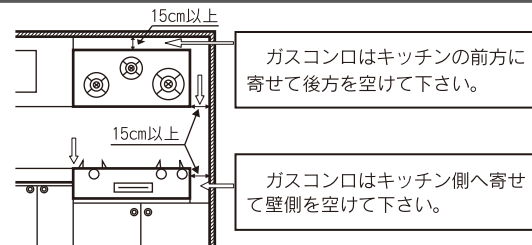
⚠️ コンロ廻りに関するご注意

モザイクと家庭用調理器具(4,600kcal以下)端部や機種によっては排熱口との距離は15cm以上確保して下さい。15cm以上確保出来ない場合は30cm以上の高さの防熱板をモザイクの表面から1cm以上離して取り付けて下さい。また加熱された鍋類がモザイク表面に直接触れないようにして下さい。

※上記条件を満たしても直接炎がモザイク表面にあたらないようご注意下さい。

※ガステーブルはキッチン側(パネルから遠い側)、及び前面へ寄せて使用して下さい。ビルトインタイプ以外の場合は特にご注意下さい。

※本注意事項は法令上の注意事項ではありません。コンロ廻りの設計に関しては火災予防条例に従い行って下さい。



お問い合わせ先

日本デコラックス株式会社
<http://paneat.decoluxe.co.jp>

カスタマーセンター

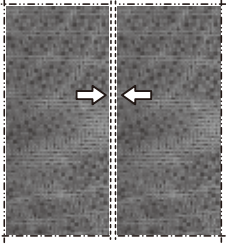
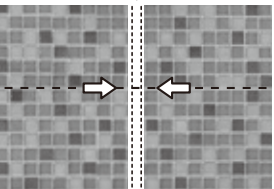
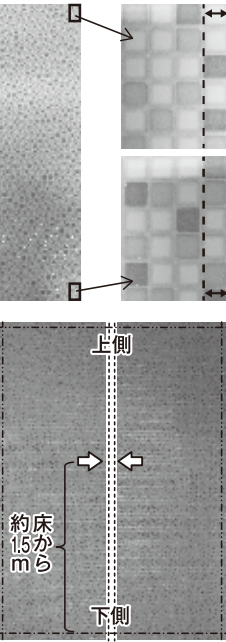
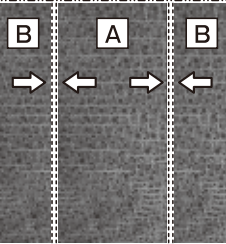
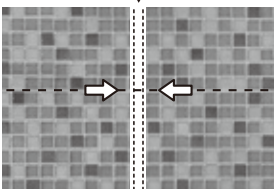
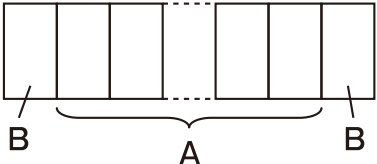
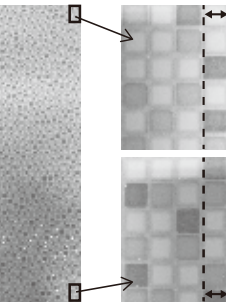
〒480-0103 愛知県丹羽郡扶桑町柏森前屋敷10 TEL (0587)91-3501 FAX (0587)91-3505

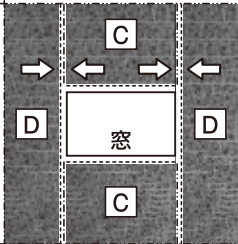
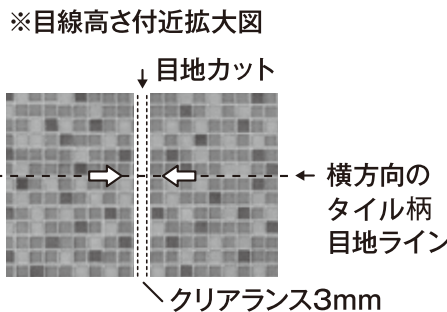
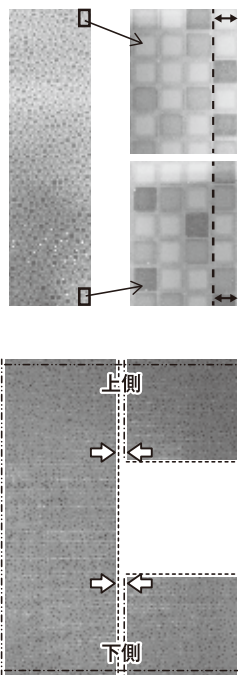
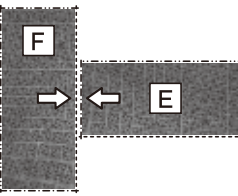
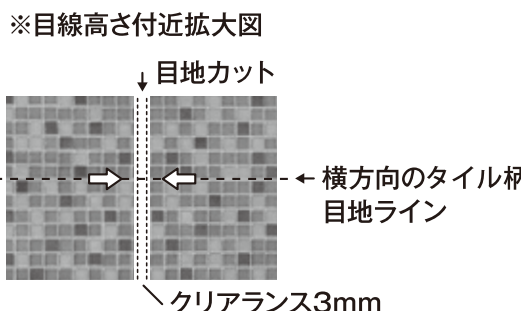
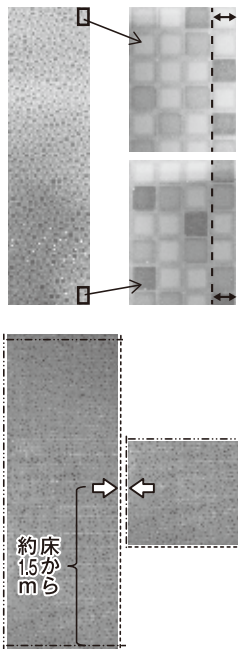
フリーダイヤル

0120-19-3501

※携帯電話、スマートフォンもご利用いただけます。

MAN-006-6
2023.07.SI

工 程	手 順	注 意 点
B. モザイク2枚を同じ目方向で貼る場合の採寸・割付・加工（切断）の流れ		
③採寸・割付	 ・納まりを考慮し全体の割付を行ってください。 ・モザイクの外周に3mmのクリアランスを取ってください。 ・下地の目地とモザイクパネル間のクリアランスが重ならないようにしてください。 ・モザイク同士が隣接する長辺は、タイル柄に沿った目地カットで割り付けてください。 ・目線高さ付近(床から約1.5m)の横方向のタイル柄目地ライン同士を一直線にすることで、2枚のモザイクのタイル柄が目線高さ付近で揃うように割り付けてください。 ※目線高さ付近拡大図 	・出窓、もしくはカウンターなどの切り欠き部分は、製品を分割するセパレート施工を行ってください。 ・切り欠き部分が、連続するような割付けはしないで下さい。 ・突き付け施工はしないでください。
④加 工（穴あけ）	・切り欠き、くり抜きがある場合は、コーナー部へ12Φ以上の穴を開けてください。 ・合板を下敷きにしてパネルと固定し、電動ドリル、ホールソーを使用し、化粧面側から穴を開けてください。	・モザイクにビス打ちしないでください。
	 ・切断は電動鋸又はケガキカッターを使用してください。鋸刃はキッチンパネル用（不燃メラミン化粧板用）又はダイヤモンドソーを使用してください。（※木工用のチップソーを使用するとカット面にバリが出る恐れがあります） ・電動鋸使用時は鋸刃の回転方向が化粧面から裏面側へ抜けるように、ケガキカッター使用時は化粧面にケガキ傷をつけてカットしてください。 ・モザイクの長辺両端にある2つのタイルについて、製品長辺からタイル内側の辺までの距離をそれぞれ測定してください。 ・差が1mm以上の場合、長辺の片側(モザイクが隣接する側)を、縁から1列目のタイル柄に沿って印をつけて目地カットしてください。差が0mmかつタイル柄に沿っている場合、目地カットは必要ありません。 ・もう片側の長辺は、必要な幅寸法に印をつけてカットしてください。 ・隣り合わせて貼るモザイクを並べ、床から約1.5mの目線に来る高さで横方向のタイル柄目地ラインを揃えてください。 ・下側の短辺は、長辺方向を基準に直角になるようにさしがね等を使用してタイル柄に沿って印をつけ、カットしてください。 ・上側の短辺は、必要な長さ寸法に印をつけてカットしてください。	・切断時に製品の浮き上がり、振動が無いように固定してください。 ・チップソーを使用する場合は歯数の多い新品の超鋼歯を使用してください。 ・エンボスではなく、タイル柄に沿って印をつけ、目地カットしてください。 ・柄の関係上、直角にカットした場合1mm程度斜めになる場合があります。
（仕上げ）	・加工部品は 鬼目ヤスリ 又は サンドペーパー（＃180～320） で面取りを行ない、平滑に仕上げてください。	
C. モザイクを3枚以上貼る場合の採寸・割付・加工（切断）の流れ		
③採寸・割付	 ・納まりを考慮し全体の割付を行ってください。 ・モザイクの外周に3mmのクリアランスを取ってください。 ・下地の目地とモザイクパネル間のクリアランスが重ならないようにしてください。 ・Aは長辺の両サイドともタイル柄に沿った目地カットとなるようにサイズ調整してください。 ・BはAと隣り合う長辺1辺のみタイル柄に沿った目地カットで割り付けてください。 ・目線高さ付近(床から約1.5m)の横方向のタイル柄目地ライン同士を一直線にすることで、隣接するモザイクのタイル柄が目線高さ付近で揃うように割り付けてください。 ※目線高さ付近拡大図  ・例）4枚の場合 左図のAを2枚、Bを2枚と、Aの枚数を増やしてください。（N枚の場合 Aを（N-2）枚 Bを2枚とする） 	・出窓、もしくはカウンターなどの切り欠き部分は、製品を分割するセパレート施工を行ってください。 ・切り欠き部分が、連続するような割付けはしないで下さい。 ・突き付け施工はしないでください。
④加 工（穴あけ）	・切り欠き、くり抜きがある場合は、コーナー部へ12Φ以上の穴を開けてください。 ・合板を下敷きにしてパネルと固定し、電動ドリル、ホールソーを使用し、化粧面側から穴を開けてください。	・モザイクにビス打ちしないでください。
④加 工（切断）	 ・切断は電動鋸又はケガキカッターを使用してください。鋸刃はキッチンパネル用（不燃メラミン化粧板用）又はダイヤモンドソーを使用してください。（※木工用のチップソーを使用するとカット面にバリが出る恐れがあります） ・電動鋸使用時は鋸刃の回転方向が化粧面から裏面側へ抜けるように、ケガキカッター使用時は化粧面にケガキ傷をつけてカットしてください。 <Aのモザイクについて> ・モザイクの長辺両端にある2つのタイルについて、製品長辺からタイル内側の辺までの距離をそれぞれ測定してください。 ・差が1mm以上の場合、長辺の片側を、縁から1列目のタイル柄に沿って印をつけて目地カットしてください。差が0mmかつタイル柄に沿っている場合、目地カットは必要ありません。 ・もう片側の長辺は、必要な幅寸法がタイル柄と揃わない場合、必要寸法に近いタイル柄に印をつけて目地カットしてください。（Aのモザイクは長辺両側を目地カットし、全体のサイズはBのモザイクで調節してください。Aの両端を目地カットすることで、貼り合わせた際にタイル柄が繋がるように見えます。） ・下側の短辺は、長辺方向を基準に直角になるようにさしがね等を使用してタイル柄に沿って印をつけ、カットしてください。 ・上側の短辺は、必要な長さ寸法に印をつけてカットしてください。 <Bのモザイクについて> ・モザイクの長辺両端にある2つのタイルについて、製品長辺からタイル内側の辺までの距離をそれぞれ測定してください。 ・差が1mm以上の場合、長辺の片側（Aに接する側）を、縁から1列目のタイル柄に沿って印をつけて目地カットしてください。差が0mmかつタイル柄に沿っている場合、目地カットは必要ありません。 ・もう片側の長辺は、必要な幅寸法に印をつけてカットしてください。（<u>Aのモザイクは長辺両側をタイル柄でカットしてある為、全体のサイズはBのモザイクで調節してください。</u>） ・隣り合わせて貼るAを並べ、床から約1.5mの目線に来る高さで横方向のタイル柄目地ラインを揃えてください。 ・下側の短辺は、長辺方向を基準に直角になるようにさしがね等を使用してタイル柄に沿って印をつけ、カットしてください。 ・上側の短辺は、必要な長さ寸法に印をつけてカットしてください。	・切断時に製品の浮き上がり、振動が無いように固定してください。 ・チップソーを使用する場合は歯数の多い新品の超鋼歯を使用してください。 ・エンボスではなく、タイル柄に沿って印をつけ、目地カットしてください。 ・柄の関係上、直角にカットした場合1mm程度斜めになる場合があります。
（仕上げ）	・加工部品は 鬼目ヤスリ 又は サンドペーパー（＃180～320） で面取りを行ない、平滑に仕上げてください。	

工 程	手 順		注 意 点
D. 窓もしくはカウンター等の切り欠き部分に貼る場合の採寸・割付・加工（切断）の流れ			
③採寸・割付	 ⇒ タイルの高さを合わせる	・納まりを考慮し全体の割付を行ってください。 ・モザイクの外周に3mmのクリアランスを取ってください。 ・下地の目地とモザイクパネル間のクリアランスが重ならないようにしてください。 ・窓等を囲いモザイクのサイズ調節が出来ない場合、Cは長辺をタイル柄に沿った目地カットで割り付けて下さい。 ・Dは、Cと隣り合う長辺1辺のみタイル柄に沿った目地カットで割り付けてください。 ・目線高さ付近(床から約1.5m)の横方向のタイル柄目地ライン同士を一直線にすることで、隣接するモザイクのタイル柄が目線高さ付近で揃うように割り付けてください。 ・目線高さ付近に窓がある場合、Cの窓に隣接する側の横方向のタイル柄目地ラインと、Cと隣接するDの横方向のタイル柄目地ラインが揃うように割り付けてください。  ※目線高さ付近拡大図 目地カット 横方向のタイル柄目地ライン クリアランス3mm	・出窓、もしくはカウンターなどの切り欠き部分は、製品を分割するセパレート施工を行ってください。 ・切り欠き部分が、連続するような割付けはしないで下さい。 ・突き付け施工はしないでください。
④加 工（穴あけ）	・切り欠き、くり抜きがある場合は、コーナー部へ12Φ以上の穴を開けてください。 ・合板を下敷きにしてパネルと固定し、電動ドリル、ホールソーを使用し、化粧面側から穴を開けてください。		・モザイクにビス打ちしないでください。
④加 工（切断）	 上側 下側	・切断は電動鋸又はケガキカッターを使用してください。鋸刃はキッチンパネル用（不燃メラミン化粧板用）又はダイヤモンドソーを使用してください。（※木工用のチップソーを使用するとカット面にバリが出る恐れがあります） ・電動鋸使用時は鋸刃の回転方向が化粧面から裏面側へ抜けるように、ケガキカッター使用時は化粧面にケガキ傷をつけてカットしてください。 <Cのモザイクについて> ・モザイクの長辺両端にある2つのタイルについて、製品長辺からタイル内側の辺までの距離をそれぞれ測定してください。 ・差が1mm以上の場合、長辺の片側を、縁から1列目のタイル柄に沿って印をつけて目地カットしてください。差が0mmかつタイル柄に沿っている場合、目地カットは必要ありません。 ・もう片側の長辺は、必要な幅寸法に印をつけてカットしてください。 ・短辺の片側は、長辺方向を基準に直角になるようにさしがね等を使用してタイル柄に沿って印をつけ、カットしてください。 ・もう片側の短辺は、必要な長さ寸法に印をつけてカットしてください。 <Dのモザイクについて> ・モザイクの長辺両端にある2つのタイルについて、製品長辺からタイル内側の辺までの距離をそれぞれ測定してください。 ・差が1mm以上の場合、長辺の片側（Cに接する側）を、縁から1列目のタイル柄に沿って印をつけて目地カットしてください。差が0mmかつタイル柄に沿っている場合、目地カットは必要ありません。 ・もう片側の長辺は、必要な幅寸法に印をつけてカットしてください。 ・隣り合わせて貼るCを並べ、床から約1.5mの目線に来る高さで横方向のタイル柄目地ラインを揃えてください。 ・目線高さ付近に窓がある場合、窓の上側、下側ともに、Cの窓に隣接する側の横方向のタイル柄目地ラインと、Cと隣接するDの横方向のタイル柄目地ラインを揃えてください。 ・下側の短辺は、長辺方向を基準に直角になるようにさしがね等を使用してタイル柄に沿って印をつけ、カットしてください。 ・上側の短辺は、必要な長さ寸法に印をつけてカットしてください。	・切断時に製品の浮き上がり、振動が無いように固定してください。 ・チップソーを使用する場合は歯数の多い新品の超鋼歯を使用してください。 ・エンボスではなく、タイル柄に沿って印をつけ、目地カットしてください。 ・柄の関係上、直角にカットした場合1mm程度斜めになる場合があります。
（仕上げ）	・加工部品は鬼目ヤスリ又はサンドペーパー（＃180～320）で面取りを行ない、平滑に仕上げてください。		
E. キッチン回り等に縦目×横目で2枚を貼る場合の採寸・割付・加工（切断）の流れ			
		※Fleur は柄に方向性があるため推奨しません。	
③採寸・割付	 ⇒ タイルの高さを合わせる	・納まりを考慮し全体の割付を行ってください。 ・モザイクの外周に3mmのクリアランスを取ってください。 ・下地の目地とモザイクパネル間のクリアランスが重ならないようにしてください。 ・Fの長辺とEの長辺をタイル柄に沿った目地カットで割り付けて下さい。 ・目線高さ付近(床から約1.5m)の横方向のタイル柄目地ライン同士を一直線にすることで、隣接するモザイクのタイル柄が目線高さ付近で揃うように割り付けてください。  ※目線高さ付近拡大図 目地カット 横方向のタイル柄目地ライン クリアランス3mm	・出窓、もしくはカウンターなどの切り欠き部分は、製品を分割するセパレート施工を行ってください。 ・切り欠き部分が、連続するような割付けはしないで下さい。 ・突き付け施工はしないでください。
④加 工（穴あけ）	・切り欠き、くり抜きがある場合は、コーナー部へ12Φ以上の穴を開けてください。 ・合板を下敷きにしてパネルと固定し、電動ドリル、ホールソーを使用し、化粧面側から穴を開けてください。		・モザイクにビス打ちしないでください。
④加 工（切断）	 約床15cm	・切断は電動鋸又はケガキカッターを使用してください。鋸刃はキッチンパネル用（不燃メラミン化粧板用）又はダイヤモンドソーを使用してください。（※木工用のチップソーを使用するとカット面にバリが出る恐れがあります） ・電動鋸使用時は鋸刃の回転方向が化粧面から裏面側へ抜けるように、ケガキカッター使用時は化粧面にケガキ傷をつけてカットしてください。 <Eのモザイクについて> ・モザイクの長辺両端にある2つのタイルについて、製品長辺からタイル内側の辺までの距離をそれぞれ測定してください。 ・差が1mm以上の場合、長辺の片側を、縁から1列目のタイル柄に沿って印をつけて目地カットしてください。差が0mmかつタイル柄に沿っている場合、目地カットは必要ありません。 ・もう片側の長辺は、必要な幅寸法に印をつけてカットしてください。 ・短辺の片側は、長辺方向を基準に直角になるようにさしがね等を使用してタイル柄に沿って印をつけ、カットしてください。 ・もう片側の短辺は、必要な長さ寸法に印をつけてカットしてください。 <Fのモザイクについて> ・モザイクの長辺両端にある2つのタイルについて、製品長辺からタイル内側の辺までの距離をそれぞれ測定してください。 ・差が1mm以上の場合、長辺の片側（Eに接する側）を、縁から1列目のタイル柄に沿って印をつけて目地カットしてください。差が0mmかつタイル柄に沿っている場合、目地カットは必要ありません。 ・もう片側の長辺は、必要な幅寸法に印をつけてカットしてください。 ・隣り合わせて貼るEを並べ、床から約1.5mの目線に来る高さで横方向のタイル柄目地ラインを揃えてください。 ・下側の短辺は、長辺方向を基準に直角になるようにさしがね等を使用してタイル柄に沿って印をつけ、カットしてください。 ・上側の短辺は、必要な長さ寸法に印をつけてカットしてください。	・切断時に製品の浮き上がり、振動が無いように固定してください。 ・チップソーを使用する場合は歯数の多い新品の超鋼歯を使用してください。 ・エンボスではなく、タイル柄に沿って印をつけ、目地カットしてください。 ・柄の関係上、直角にカットした場合1mm程度斜めになる場合があります。
（仕上げ）	・加工部品は鬼目ヤスリ又はサンドペーパー（＃180～320）で面取りを行ない、平滑に仕上げてください。		

